

(7) 三重県観光キャンペーンについて

1 県内の周遊性・滞在性を高める取組

(1) みえ旅パスポート・みえ旅案内所・みえ旅おもてなし施設

観光客の県内での周遊性、滞在性を向上させ、県内各地の魅力に触れていただくことで、三重ファン、リピーターを増加させることを目指し、「みえ旅パスポート」の発給を行うとともに、道の駅をはじめ、宿泊施設など県内の様々な施設に対し、「みえ旅案内所」及び「みえ旅おもてなし施設」への協力を働きかけています。

- みえ旅パスポート発給数（3月1日現在） 385,200件
- みえ旅案内所設置数（3月1日現在） 102施設（当初：68施設）
- みえ旅おもてなし施設（3月1日現在） 858施設（当初：640施設）

2 官民一体となった情報発信

(1) 企業等と連携した情報発信

【サンヨー食品株式会社】

フードイノベーション課と連携し、株式会社ぐるなび主催の「ご当地ラーメングランプリ2013」でグランプリを獲得した「亀山ラーメン」を、サンヨー食品株式会社から即席カップ麺「サッポロ一番 三重亀山ラーメン 牛骨味噌味」として、1月19日から発売を開始しました。

なお、販売を記念して、三重県観光キャンペーンと連携した「発売開始記念キャンペーン」を実施しました。

【株式会社エクシング】

全国の自治体で初めてカラオケ大手の株式会社エクシングと連携し、全国のJOYSOUNDを設置のカラオケ店舗内で三重県観光キャンペーンとのコラボキャンペーンを行います。なお、コラボキャンペーンにおいて、三重の宿泊ペアチケットや特産品が当たるプレゼント企画を実施します。

キャンペーン名称 JOYSOUND × 三重県

「カラオケで日本を元気にしよう！コラボキャンペーン」

期間 平成27年3月25日（水）から5月10日（日）まで

(2) 三重県観光交流会

首都圏において、食・物産・観光等の三重の魅力を発信し、効果的なメディア露出を図るため、メディア等と県内観光関係者との交流会を開催しました。

開催日：平成27年1月28日（水）

開催場所：ロイヤルパークホテル（東京都中央区日本橋）

(3) 県内外イベント等での情報発信

県内外各地で開催された関係団体のイベント等において、観光キャンペーン及び県内観光のPR、みえ旅パスポートの臨時発給等を実施しています。

- 《主なイベント》
- 熊野古道世界遺産登録10周年フィナーレ（12/13）
 - FDA青森空港利用促進イベント（12/12～14）
 - 西美濃・北伊勢フェア（2/20～22）

3 おもてなしセミナーの開催

みえ旅案内所、市町及び観光協会、観光事業者など、本県の観光に携わる方々を広く対象に、今や観光情報の提供に欠かせないツールであるインターネットによる、お客様が必要とする情報や、お客様に喜ばれる情報の伝え方を学ぶための研修会を開催しました。

日 時 平成27年3月6日(金) 13:30~15:30

場 所 アスト津4階 研修室

4 その他

(1) 三重県観光情報提供会

中京圏及び関西圏を拠点とするメディアを対象に、三重県の最新の観光トピックスや旬の観光情報等を提供するとともに、メディアとの交流を深め、パブリシティ強化を図るため、三重県観光情報提供会を開催します。

【大阪会場】

日時：平成27年3月19日(木) 14時00分~16時00分

場所：ホテル新大阪コンファレンスセンター

【名古屋会場】

日時：平成27年3月25日(水) 15時00分~17時00分

場所：名古屋三交ビル10階会議室及び1階桜通りカフェ

(2) 「実はそれ、ぜんぶ三重なんです~三重おかげさま講座~」

12月から3月にかけて、三重県の首都圏営業拠点「三重テラス」において、「実はそれ、ぜんぶ三重なんです~三重おかげさま講座~」を開催し、三重県の深い魅力を伝えることで、旅の動機付けを行いました。

第2回 日 時 平成27年2月2日(月) 19:00~20:30

講 師 北村 光弘 氏(料理研究家)

内 容 魅力満載!三重の伝統野菜

参加者 25名

第3回 日 時 平成27年3月3日(火) 19:00~20:30

講 師 森 武史 氏(写真家)

内 容 伊勢、熊野、鳥羽

ーレンズを通して見える三重の風景ー

定 員 50名

(3) 三重県をロケ地とした映画との連携

本年2月14日に公開された映画『^{おとこ}婿の一生』は、伊賀市、南伊勢町、津市と県内中心にロケが行われており、三重県の魅力を全国的に発信する絶好の機会のため、本映画を活用し情報発信に取り組んでいます。

(4) 平成27年度上期企画お披露目イベント

三重県観光キャンペーンのさらなる盛り上がりを図るため、第5弾オフィシャルガイドブック、各地域部会が実施する連携事業等の内容を発表するため、平成27年3月14日にジャズドリーム長島でお披露目イベントを開催します。

(8) 「みえ国際展開に関する基本方針」の見直しについて

基本方針策定後、1年5カ月経過し、この間「みえ国際展開推進連合協議会」の設立など推進体制の整備や、各国（地域）等とのネットワークの強化が進んでいることから、こうした状況を踏まえて、さらに取組を加速・深化させていく必要があります。

このため、現行の基本方針について見直しを行い、国際展開のさらなるレベルアップを図ります。

1 「みえ国際展開に関する基本方針」評価検討部会での検討状況について

外部有識者からなる「みえ国際展開に関する基本方針」評価検討部会を開催（7月、2月の計2回）し、本県の国際展開に関して評価を行うとともに、重点的に取り組むべき分野や今後の取組方向等について議論いただきました。委員からは、「多様な方向への活発な取組は評価できるが、今後のフォローアップとその体制の構築が重要」、「構築してきたネットワーク等をうまく利用して実効あるものにしていくことが重要」などといった意見がありました。

2 基本方針の見直しの方向性について

基本方針の見直しについて、評価検討部会での議論等を踏まえ、検討を進めました。基本方針の見直しの方向性は、以下の（1）～（4）のとおりです。

（1）国（地域）別における取組の進展

これまで基本方針に基づき、国（地域）別に取り組んできた結果、産業連携に関する覚書（MOU）や観光交流協定の締結、大学間の連携協定、県産品の販路開拓など、産業連携や観光交流等において、多様なネットワークや取組の成果が生まれつつあります。

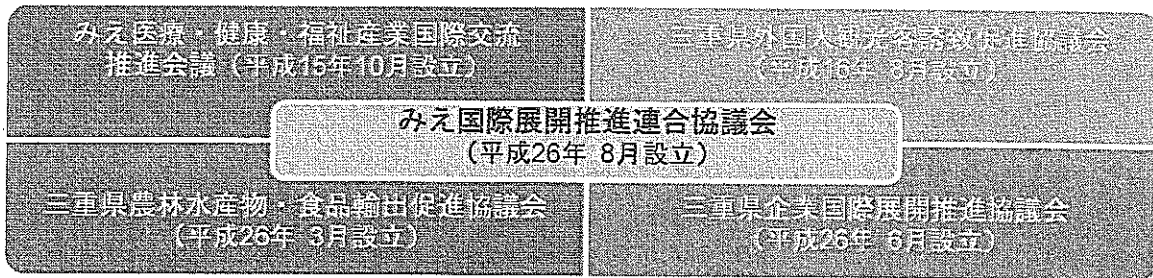
このため、基本方針の国（地域）別の取組方向等を見直し、さらに一步先をめざした内容とします。

（2）国際展開推進体制の整備（プラットフォームの構築）

これまで分野ごとに協議会を設置して、中小企業等関係者のニーズの把握に努めながら、国際展開に取り組んできました。既に設置済の協議会等に加え、昨年（平成26年）3月には「三重県農林水産物・食品輸出促進協議会」を、6月には「三重県企業国際展開推進協議会」を設置するとともに、8月には各協議会を連合化した「みえ国際展開推進連合協議会」を設立し、国際展開を「オール三重」で推進するための体制（プラットフォーム）を構築しました。

このため、これらの推進体制を国際展開のプラットフォームとして基本方針に位置付け、国際展開の推進エンジンとして有効に活用するなかで、強力に進めていきます。

【国際展開のプラットフォーム】



（3）国際展開における支援体制の強化

県内中小企業の国際展開の促進に向けて、企業間ネットワーキングやビジネスマッチングなど、活発に機会の創出等に取り組むため、さらなる支援体制の強化を図る必要があります。

県内中小企業等の海外展開については、三重県海外ビジネスサポートデスクを中国（上海に平成24年7月）、アセアン（バンコクに平成24年9月）に設置して、支援を行っているところです。今後は、観光・海外誘客も含め、同サポートデスクを活用しながら取組を進めていきます。

また、新たに、海外連携の総合窓口を設置するとともに、海外展開専門コーディネーターを配置して、海外企業の技術ニーズ・課題の把握、情報提供、技術の目利きによる取引の可能性のある企業の発掘、企業間ネットワーキング、MOU等締結先の国・地域等との人材交流や商談会開催、ミッション派遣の受入などの取組を進めます。

これらを基本方針に位置付け、支援体制の強化を図っていきます。

（4）新たな分野の取組の推進

国際展開の取組を進めるなかで、国（地域）別及び各分野において構築してきたネットワーク等の活用により、新たな分野への取組の可能性が生まれてきています。機を逃さず、積極的に取り組んでいくため、以下の①～④について「新たな分野」として基本方針に位置付け、さらに取組を進めていきます。

- ① ライフイノベーション分野における海外連携の推進
- ② 医療分野における学術連携（高度人材の確保・育成等）
- ③ 「食」クラスター、ICT・ビッグデータに関する農業分野連携
- ④ スポーツを通じた海外との交流の促進

3 今後のスケジュール

今後、県議会をはじめ、国際展開に関する関係者等様々な方から引き続きご意見を伺いながら、基本方針の見直しに向けて作業を進め、平成27年7月を目途に基本方針（改訂版）を策定していきます。

(9) - 1 台湾との連携・交流について(新北市「平溪国際天燈祭り」参加)

本県と台湾・新北市とは、平成 25 年 10 月に観光協定を締結し交流を図ることとしていますが、その一環として、新北市において開催された「平溪国際天燈祭り」に、今回初めて企画された新北市への県民ツアーの皆様とともに参加しました。

1. 日時及び場所

平成 27 年 2 月 22 日(日) 13 時 30 分から 20 時 30 分まで(現地時間)
新北市立菁桐(じんとん)国民小学校グラウンド

2. 参加者

加藤観光・国際局長、県民ツアー参加者等 計 46 名

3. 概要

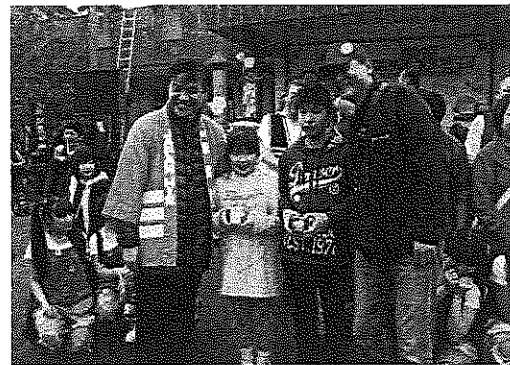
台湾各地や海外から計 5 万人(新北市発表)が集まる中、三重県ブースを出展して三重県の観光資源を PR するとともに、アイドルグループ「ALLOVER」によるパフォーマンスの後、県民ツアー参加者によるランタン上げなどが行われました。

(1) ブースでの P R

会場近くの菁桐駅前に開設した三重県ブースでは、三重県の代表的な観光資源である忍者、海女などを用いた PR を行い、多くの来場者に三重県をアピールしました。



菁桐駅付近に設置された三重県 P R ブース



ツアー参加者に三重県と新北市から記念品を贈呈

(2) ランタン上げ

夕方からは 8 組に分かれて各組 60 個、計 480 個のランタンが上げられました。4 組目には、アイドルグループ「ALLOVER」による志摩市公式キャラクター「しまこさん」のコラボソング等のパフォーマンスで会場を盛り上げたのち、観光・国際局長と陳観光旅遊局長がメインランタンを上げ、三重県と新北市の観光交流の増大を願うとともに、県民ツアー参加者が観光協定 1 周年を記念し、ランタンに願い事を書いて夜空へ飛ばしました。



コラボソングで会場を盛り上げた ALLOVER



観光交流の増大を願うランタン



合理

大量房產，只靠投資者不把房子用合理價格釋出，台灣房價過高的問題永遠無法解決。想從投資者釋出房產有很多方法，如房地合一等，這是關乎民生的事，政府應當捐棄成見，共同為全民謀福利，追求共識。新黨雙方攜手擬出一個好的政策版本，逼得投資者釋出持有的這類房地產，房市才能恢復正常運作，房價才會讓一般薪水階級有能力負擔。

以此三願，期許台灣社會各政黨、各階層，大家攜手共進，再為台灣創造經濟佳績，尤其民進黨、2016執政在望，應積極與國民黨政府合作，攜手解決台灣的沉痾與共業，奠定將來有利的執政基礎。

短評 台灣有感?

「習有章」的措施會受營選的。有人質疑，北京何必在選前釋出善意、讓蔡英文在選後「措手不及」？何況狀況合一狂調的威風，小英師或將會誤認為，大陸的善意是在向民進黨伸出橄欖枝，兩岸因黨已不足以阻礙蔡英文當選，因此繼續對兩岸政策積極以對或低調迴避，甚至在「股中」的選路上意定趨落。

另一種觀點認為，選前北京釋出善意愈多，台灣民眾愈有感、愈珍惜，民進黨就愈不起，兩岸關係連轉的壓力就會愈大，就愈有可能考慮轉機。而且北京既已擺明「反對台獨、堅持九二共識」底線，透過



幸福年味

「—新北市平溪天燈節首場活動22日在菁桐國小會場，照亮平溪夜空(右圖)。上圖為配合羊年生肖，主辦單位還準備60盞「喜羊羊與灰太郎」卡通天燈，讓不少小朋友愛不釋手。(黃世麒攝)

童趣放閃 平溪天燈節喜羊羊

曾百村、葉壽宏/新北報導
羊年到，就是要闖家「喜羊羊」！2015新新北市平溪天燈節昨於平溪菁桐國小會場，今年新新北市府以羊年為主題，登場首日就展出熱門卡通喜羊羊的8呎主燈，在場小朋友都很興奮，遊客看著天燈飛向天際，直說：「這樣滿滿的幸福，心中那種感動真的無可言喻」。估計昨天天燈升空數「破萬」。

花百萬爭取喜羊羊授權
新新北市府籌辦羊年首屆天燈節，在平溪天燈節首場活動，花了百萬元爭取授權、讓各式各樣喜羊

家家族的圖案印在天燈上飛往天際，吸引不少小朋友前來參加天燈節活動。
昨天有小孩得知有喜羊羊天燈後：「怎麼樣都不肯離開菁桐國小」，家長無計可施，只好配合孩子改變行程。主辦單位說，昨天施放的首隻羊年天燈「獨一無二」，未來市面上想買也買不到，幸運難能放飛天燈的遊客「值回票價」。

年初四許多遊客前往平溪恭拜歲次天燈祈福，業者表示，大部分遊客都幫「陳大鏡」、「關公」、「考上理想學校」等，但同時聞也透露時下年輕人在天燈上的留言也很有趣，有寫下「希望情敵自動消失」、「爸媽不撒手，買台機車給我」、字句充滿過年紅包意。

日觀光客直呼感動
新新北市府提升平溪天燈節在國際的能見度，昨邀請日本三浦縣國際觀光局官員來平溪參觀，並施放天燈。包括市三區綠園觀光局長加藤政典帶領，帶領30位三浦縣民以及當地女子歌手團贈「ALL OVER」前往參加平溪天燈節活動，日本遊客看見天燈升空飛向遠方時，用日語說「天燈飛啦」、「好漂亮的美景我一直無法忘記」。

平溪地方團體會理事長王龍輝指出，去年開辦走春大廟會，加上天氣放晴，估計昨天天燈升空數破萬。

天燈升空數逾萬個
新新北市副市長陳仲賢說，希望新的一年台灣遠離災難，人民都過得平安、快樂，昨在主題上題字「台灣更豐少一點、大家平安健康」為台灣祈福。

新新北市觀光局表示，若民眾錯過昨天的天燈節活動，2月27日及3月5日在平溪國中、十分廣場都有舉辦活動，其中27日總場還有舉辦活動，其中27日總場才會停得很久，但已達到緩解交通的必要。

平成26年度 包括外部監査結果に対する対応方針

テーマ・区分・内容	対応方針	備考
雇用経済部		
1. 海外展開モデル構築緊急雇用創出事業業務委託		
① 委託料の確定について（意見）		
<p>委託料の確定作業は、委託先が作成した計算書等の資料に基づいて行われるが、その資料の信頼性を確かめることが必要である。1月から3月の支出内容についても確認作業を実施しているとのことであったが、その明細は残されておらず、確認作業を行ったことを確認することができなかった。</p>	<p>委託料の確定が必要な業務委託においては、委託先の支出内容について、信頼性のある資料によって適切に確認したことが分かるよう、文書での報告、保存の徹底に努めます。</p>	雇用経済部
2. 中国における海外展開拠点づくり事業に係る業務委託		
① 利用実績の向上について（意見）		
<p>平成25年度のサポートデスクの利用実績は平成24年度に比べて増加しているが、月平均19件と利用実績はまだ十分でないと思われる。県の「平成26年版成果レポート」の「緊急課題解決8」の「日本がリードする「メイド・イン・三重」～ものづくり推進プロジェクト」の「平成26年度の改善のポイントと取組方向⑥」において、「県内企業の活用頻度の向上を図るとともに」とあるように、まだ、開始後間もない事業であり事業内容を県内の中小企業に浸透させる段階にあり、利用者を増加させるためより広報活動を充実させることが望ましい。</p>	<p>サポートデスクのPRについては、これまでのセミナー開催やホームページ・メールマガジンを通じた周知のほか、今年度は新聞への記事掲載などによりさらなる広報に取り組んできましたが、引き続き利用者増加につながるよう更なる広報活動に努めます。</p>	雇用経済部
3. アセアンにおける海外展開拠点づくり事業に係る業務委託		
① 利用実績の向上について（意見）		
<p>平成25年度のサポートデスクの利用実績は平成24年度に比べて増加しているが、月平均11件と利用実績はまだ十分でないと思われる。県の「平成26年版成果レポート」の「緊急課題解決8」においても「県内企業の活用頻度の向上を図るとともに」とあるように、まだ、開始後間もない事業であり事業内容を県内の中小企業に浸透させる段階にあり、利用者を増加させるためより広報活動を充実させることが望ましい。</p>	<p>サポートデスクのPRについては、これまでのセミナー開催やホームページ・メールマガジンを通じた周知のほか、今年度は新聞への記事掲載などによりさらなる広報に取り組んできましたが、引き続き利用者増加につながるよう更なる広報活動に努めます。</p>	雇用経済部

4. 米国ミッション派遣事業委託業務		
① 委託者の選定方法について (意見)		
<p>ミッションの派遣につき、同一の委託先が選定され続ける可能性がある。本来はミッションの派遣目的に照らして委託者を選定すべきであるが、即時に現地のコンサルティング事業者の情報収集を行うことは困難であり、今回の選定については情報不足もあり十分な吟味がなされているとは認められなかった。今後はミッションの目的に合わせて、委託先が選定できるよう、継続的に情報収集に努めるべきである。</p>	<p>ミッションの派遣にかかる委託者の選定にあたっては、現地の在外公館や日本貿易振興機構（ジェトロ）等の関係機関から継続的な情報収集に努めているところであり、引き続き十分な情報収集を行い対応します。</p>	雇用経済部
5. 起業支援型地域雇用創造事業業務委託		
① 履行確認について (意見)		
<p>各委託事業の実施状況を確認するために事業を行っている現地に赴き、状況を確認しているとのことであるが、現地で確認を行った記録が残されていない。実際の業務の状況を確認することは委託業務が適切に行われていること確認するために必要な行為であり、現地で確認を行った記録を残しておくことは、委託業務の監督者の責務を果たしたことを証するために必要である。また、上長による監督者の確認作業が適切に行われたかの確認する際の根拠となりうるものである。さらに、現地での確認作業の記録を残すものとするにより、現地での確認作業が確実に実施されることになる。</p>	<p>平成 26 年度の起業支援型地域雇用創造事業の履行確認については、文書での報告、保存の徹底に努めるとともに、各担当課に確認作業の記録を文書で残すよう周知しました。</p>	雇用経済部
6. 平成24～25年度若年者キャリアサポート推進業務委託		
① 委託事業の継続について (意見)		
<p>県立高等学校卒業生の内定率が、県が設定した目標値に満たない状況が続いているが、本委託業務は内定率の改善にもつながるものである。</p> <p>高校生のキャリア教育を所管するのは教育委員会であるが、本委託業務は緊急雇用創出事業として雇用経済部が企業とのネットワークを生かして行った事業である。本委託業務は終了したが、今後も高校生のキャリア教育を所管する教育委員会に協力されたい。</p>	<p>希望する県内高等学校を対象に、働く上でのルールや働き方等をまとめた「働くルールブック」を配布するとともに、県全体のキャリア教育の推進体制を構築する「三重県キャリア教育支援協議会」に参画するなど、今後も、教育委員会と連携しながら若者の就労を支援していきます。</p>	雇用経済部

7. 平成 25 年度 三重県観光客実態調査事業		
① 予定価格の設定にかかる積算について（意見）		
<p>本委託業務の設計金額のうち、「分析・考察・報告書作成及び管理費」の積算では、直接人件費に諸経費率を乗じて諸経費を算定しているのに対して、「観光客実態調査」の積算では、直接費のみが計上され、諸経費は含まれていなかった。直接費の一部を諸経費としてみなしたとのことであるが、積算方法の見直しを検討することが望ましい。</p>	<p>観光庁の調査要領に記載されている積算例を参考に、積算方法を見直しました。</p>	<p>雇用経済部</p>

(11) 各種審議会等の審議状況の報告について

(平成26年11月21日～平成27年2月16日)

(雇用経済部)

1 審議会等の名称	三重県大規模小売店舗立地審議会
2 開催年月日	平成27年1月23日(金)
3 委員	【会長】名城大学 教授 松本幸正 ほか3名出席
4 諮問事項	・「(仮称) ケーズデンキ桑名店」(桑名市)の新設に係る届出について(1回目)
5 調査審議結果	「(仮称) ケーズデンキ桑名店」(桑名市)の新設に係る届出について(1回目) 事務局から、届出資料に基づき、駐車需要の充足等交通に係る事項、騒音の発生に係る事項及び廃棄物に係る事項等について説明を行いました。 委員から、店舗周辺の交差点における渋滞対策等について1点の指摘事項と2点の確認事項があり、継続審議となりました。
6 備考	